重要事項説明書

指定通所介護事業・介護予防・日常生活支援総合事業 指定介護予防通所介護事業 利用重要事項説明書

指定通所介護事業「嬉の里デイサービスセンター」のサービス提供の開始にあたり、当事業所が貴殿に説明すべき事項は次のとおりです。

- 事業者

事業者の名称	社会福祉法人 千尋会
事業所所在地	沖縄県島尻郡南風原町新川5 3 8 番地
法人の種別	社会福祉法人
代表者	饒平名 勝
電話番号	098-888-0591
FAX番号	098-889-8420

- ご利用の事業所

事業所の名称	嬉の里指定通所介護事業所（嬉の里デイサービスセンター）
事業所所在地	沖縄県島尻郡南風原町新川5 3 8 番地
法人の種別	社会福祉法人
管理者	真栄田 昇平
電話番号	098-888-0591
FAX番号	098-889-8420
指定事業者番号	4773600012

- 事業の目的及び運営方針

（事業の目的）

この規定は、社会福祉法人千尋会が開設する指定通所介護事業の適切な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の生活相談員及び看護師、介護職員、機能訓練指導員（以下「通所介護従事者」と言う）が要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、適切な指定通所介護支援事業を提供することを目的とする。

（運営方針）

- ①事業所の通所介護事業者は、要介護状態等の心身の特性を踏まえて、その利用者の可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な生活上の世話及び機能訓練等の介護その他必要な援助を行う。

- ②事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

- 職員の職種、員数、及び職務内容

事業所に勤務する職員の職種、員数、及び職務内容は次のとおりとする。

①管理者	1名（併設の施設長または通所介護従業者と兼務）
管理者は事業者の従業者管理及び兼務の管理を行う。	
②通所介護従業者	生活相談員 1名以上
	介護職員 6名以上
	看護職員 1名以上

- ③通所介護従事者又は指定介護予防通所介護の業務に当たる。生活相談員は、事業所に対する指定介護通所介護の利用の申し込みに係る調整、他の通所介護従事者に対する相談助言及び技術指導を行い、また他の従事者と協力して通所介護計画の作成等を行う。

- ④機能訓練員 1名以上

機能訓練指導員は日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練指導、助言を行う。

- 利用日及び利用時間

利用日 毎週月曜日 ～ 土曜日（ウークイ、12月31日、元日、1月2日、1月3日 休業）

利用時間 午前9時30分 ～ 午後4時35分まで但し緊急時はその限りではありません。

6. 事業所の利用定員は、1日3 5人とする。

- 指定通所介護の内容、形態及び利用料金等

指定通所介護の内容は、指定通所介護支援事業者または利用者本人等の作成した居宅サービス計画書に基づいて、次上げるもののうち必要と認められるサービスを行うものとする。ただし、居宅サービス計画書が作成されていない場合は、次に上げるもののうち当事行者と利用者等との相談（確認）によって選定し、サービスを行うものとする。

- ①身体の介護に関すること

日常生活の程度により、必要な支援サービスを行うものとする。

 - ア 排泄の介助
 - イ 移動、移乗の介助

- ②入浴に関すること

家庭において入浴することが困難な利用者に対して、必要な入浴サービスを提供する。

 - ア 衣類着脱の介助
 - イ 身体の清拭、洗髪、洗身
 - ウ その他必要な入浴の介助

- ③食事に関すること

給食を希望する利用者に対して、必要な食事サービスを提供する。

 - ア 準備、後始末の介助
 - イ 食事摂取の介助
 - ウ その他必要な食事の介助

- ④アクティビティ・サービスに関すること

利用者が生きがいのある快適で豊かな日常生活を送ることができるような生活援助（支援）や家庭での日常生活に必要な基礎的サービス（訓練）及び機能低下を防ぐために必要な訓練を行う。また、利用者の身体的、精神的な疲労回復と気分転換が図れるような各種サービスを提供する。

 - ア レクリエーション
 - イ グループワーク
 - ウ 行事活動（費用については実費請求）
 - エ 体操
 - オ 機能訓練
 - カ 休養（養護）

- ⑤送迎に関すること

障害の程度、地理的な条件、その他の利用により送迎を必要とする利用者については必要な支援、サービスを提供する。

 - ア 移動・移乗の介助
 - イ 送迎

- ⑥相談、助言に関すること

利用者及びその家族の通所介護サービス、介護等に関する相談及び助言を行う。

 - ア 日常生活動作訓練の相談、助言
 - イ その他必要な相談・助言

- ⑦指定通所介護を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、次に掲げるものについては実費で申し受けます。
 - ア 食費（昼食代 600 円）
 - イ オムツ等（本人持参）
 - ウ 趣向による日用品
 - エ 施設外活動等の入場料金等

8. 緊急時等における対応方法

①通所介護従業者は、指定通所介護を実施中に利用者の病状等に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに家族・病院に連絡する等の措置を講じるとともに、管理者に報告しなければならない。

②指定通所介護の実施中に天災その他の災害が発生した場合、通所介護従事者等は、必要によりサービス利用者の避難等の措置を講ずる他、管理者に連絡の上その指示に従うものとする。

9. 通常の事業の実施地域

通常の事業の実施地域は、南風原町、那覇市、西原町、与那原町とする。その他の市町村に関しては相談に応じます。
10. その他の運営についての留意事項
 - ①職員は業務上知り得た秘密を保持する。
 - ②職員は業務上知る得た秘密を保持するため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を従業者との雇用契約の内容とする。
 - ③デイサービスセンターの運営規定の概要、職員の勤務体制、サービス内容を見やすい場所に掲示する。
 - ④要介護認定等の認定を受けていない利用申込者に対しては、当該利用者の意向も踏まえて、速やかに当該申請が行われるよう必要な援助を行う。必要に応じて、更新申請も視野に入れて援助を行う。
 - ⑤利用申込者が法定代理受領サービスの提供を受けるための援助を行う。。
 - ⑥居宅サービス計画が作成されている場合には、計画に沿ったサービスを提供するとともに、利用者に計画の変更の意向があるときは必要な援助を行う。
 - ⑦デイサービスセンターの職員は、社会的使命を充分認識し職員の資質向上を図るため、研修、研究の機会を設け事業体制を整備する。
 - ⑧利用者からの相談または苦情等に対する窓口を置き、文書で記録し保管する

11. その他協議事項
 - ①本事項に定めてないが問題が生じたとき、事業者は契約者と誠意をもって協議する。
12. 苦情の申立先

窓口担当者：砂川 奈美

ご利用時間 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

ご利用方法 1. 電話 098-888-0591

2. 面接 相談室

3. 苦情箱 施設内に設置

【通所介護 基本部分】						
	3時間以上4時間未満（1回につき）	4時間以上5時間未満（1回につき）	5時間以上6時間未満（1回につき）	6時間以上7時間未満（1回につき）	7時間以上8時間未満（1回につき）	
要介護 1	368 単位	386 単位	567 単位	581 単位	655 単位	
要介護 2	421 単位	442 単位	670 単位	686 単位	773 単位	
要介護 3	477 単位	500 単位	773 単位	792 単位	896 単位	
要介護 4	530 単位	557 単位	876 単位	897 単位	1,018 単位	
要介護 5	585 単位	614 単位	979 単位	1,003 単位	1,142 単位	

【通所介護 加算】						
○入浴介助加算（Ⅰ）	40 単位/1日					
○入浴介助加算（Ⅱ）	55 単位/1日					
○中重度ケア体制加算	45 単位/1日					
○生活機能向上連携加算（Ⅰ）	100 単位/1月					
○生活機能向上連携加算（ⅠⅠ）	200 単位/1月					
○生活機能向上連携加算（ⅠⅡ）	100 単位/1月					
○サービス提供体制強化加算（Ⅰ）	Ⅰ-22 単位/1 回					
○科学的介護推進加算	40 単位/1月					
○個別機能訓練加算（Ⅰ）	Ⅰ-Ⅰ 56 単位/1日					
○個別機能訓練加算（Ⅰ）	Ⅰ 85 単位/1日					
○個別機能訓練加算（Ⅱ）	20 単位/1月					
○口腔栄養スクリーニング加算（Ⅰ）	20 単位/1 回					

【介護予防・日常生活支援総合事業 基本部分】						
	介護度	利用時間	午前9時30分～午後4時30分			
事業対象者・要支援1（週1回程度）		月4回まで	384 単位/1 回につき			
		月4回越えの場合	1672 単位/1 月につき			
事業対象者・要支援2（週2回程度）		月8回まで	395 単位/1 回につき			
		月8回越えの場合	3428 単位/1 月につき			

【介護予防・日常生活支援総合事業 加算】						
○運動機能訓練向上加算	2 2 5 単位/1月					
○事業所評価加算	1 2 0 単位/1月					
○介護職員処遇改善加算（Ⅱ）	介護報酬の告示上の額					

※別途食事代 600 円（おやつ代含む）

※利用料は基本部分に加算の合計の額となります。

「利用者負担割合」は個人毎に異なりますので 負担割合は介護保険負担割合証でご確認下さい。

※事業所評価加算に関しては、年度毎に異なりますのでご確認下さい。

○サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ

○サービス提供体制強化加算（Ⅰ）ロ

○サービス提供体制強化加算（Ⅱ）

個人情報保護に関する基本

社会福祉法人千尋会（以下、「法人」という）は、利用者等の個人の重大な責務と考えます。法人が保有する利用者等の個人情報に関して適正かつ適切な取り扱い自主的なルール及び体制を確立し、個人情報関連する法令その他情報の保護を図ることをここに宣言します。

- 個人情報の適切な取得、管理、利用、開示、委託
 - ①個人情報の取得にあたり、利用目的を開示した上で、必要な範囲を取得し、利用目的を通知または公表し、その範囲内で利用します。
 - ②個人情報の取得、利用・第三者提供にあたり、本人の同意を得ることとします。
 - ③法人が委託をする医療・介護関係事業者は、業務の委託に当たり、個人情報保護法と厚生労働省ガイドラインの趣旨を理解し、それに沿った対応を行う事業者を選定し、かつ個人情報に係る契約を締結した上で情報提供し、委託先へ適切な監督をします。
- 個人情報の安全性確保の措置
 - ①法人は、個人情報保護の取り組みを全役職員等に周知徹底させ教育を継続的に行います。
 - ②個人情報への不正アクセス、個人情報の漏えい、滅失、また整備し、安全対策に努めます。
- 個人情報の開示・訂正・更新・利用停止・削除・第三者提供の停止等の対応

法人は、本人が事故の個人情報について、開示・訂正・更新・利用停止・削除・第三者提供の停止等の申し出がある場合には、速やかに対応します。これらを希望される場合には、各部署責任者までお問い合わせください。

電話：098-888-0591
- 個人情報の適切な取得、管理、利用、開示、委託

法人は、個人情報取り扱いに関する苦情に対し、適切な迅速な対応に努めます。

千尋会における個人情報の利用目的

千尋会では、皆様の個人情報を下記の目的に利用し、その取扱いにおいてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出下さい。

- 施設内での利用目的
 - ①施設が利用者の皆様に提供する介護サービス（ケアプラン・個別介護マニュアル等）
 - ②介護保険に係る事務
 - ③介護サービスに係る施設の管理業務
 - ・入所（居）時、退所（居）時の事務管理
 - ・施設の会計や経理
 - ・緊急時や事故等の報告
 - ・利用者の介護、医療サービスの向上

- 施設外への情報提供を伴う利用目的
 - ①施設が利用者の皆様に提供する介護サービスのうち
 - ・利用者の皆様に居宅サービスを提供する他の居宅サービス事業者や居宅介護支援事業所等との連携や照会への回答
 - ・利用者の皆様の診療等に当たり、外部の医師の意見や助言
 - ・ご家族等への心身の状況やケアプランの説明
 - ・審査機関等の業務委託
 - ②介護保険事務のうち
 - ・審査支払機関（沖縄県国民健康保険団体連合会）への介護給付費請求明細書、給付管理票の提出
 - ・審査支払機関（沖縄県国民健康保険団体連合会）または保険者からの照会への回答
 - ③損害賠償保険等にかかる保険会社等への相談または届出等

- 介護サービス業務の維持・改善の基礎資料

- 施設等において行われる学生等の実習への協力

- 職員の資質向上を目的に行われる事例研究

- 外部監査機関、第三者評価機関への情報提供

- 付 記
- 上記のうち、他の機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出下さい。
 - これからの申し出は後からいつでも撤回、変更等をするすることが可能です。